

トピックス

今シーズンのノロウイルス(NV)分離状況

(平成 14 年 12 月 16 日現在)

ノーウオーク様ウイルス(NLV)は、冬季の感染性胃腸炎の主な原因ウイルスの一つです。また、ウイルス性食中毒の病因物質である小型球形ウイルス(SRSV)の主要なウイルスでもあります。今年 8 月の国際ウイルス学会(パリ)で今後はノロウイルス(NV)と呼ぶことが決定されました(ウイルス性食中毒の病因物質としては SRSV に含まれます)。

今シーズンの愛知県(名古屋市を除く)では、10 月と 11 月に春日井保健所管内などにおいて遺伝子分類 2 型のノロウイルス(NVG2)が 8 例分離されました(昨年同期では 2 例)。

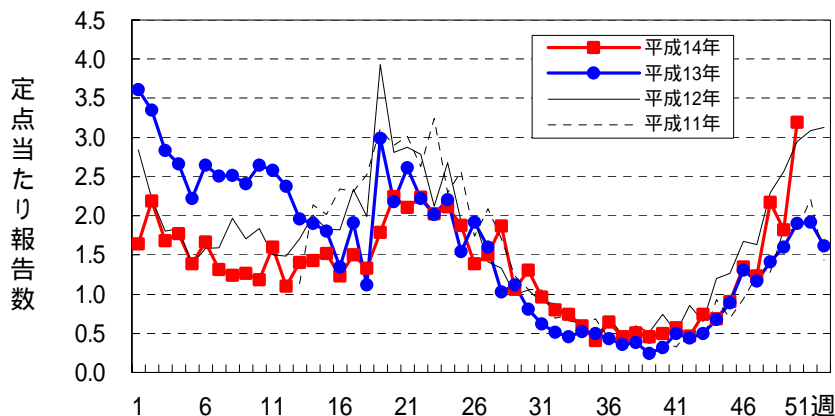


流行状況

水痘(みずぼうそう)

定点当たりの報告数は 3.19 (前週 1.82) と増加

水痘



インフルエンザ

定点当たりの報告数は 0.73 (前週 0.29) と **更に増加**

インフルエンザの予防にはワクチンが有効です。ワクチンは接種後少なくとも 2 週間たないと効力が発揮されませんので、ワクチンの接種は本格的な流行が始まる前の 12 月中旬ごろまでに終えておくことが大切です。

感染性胃腸炎

定点当たりの報告数は 12.3 (前週 13.8) と **同程度に推移**

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *レンサ球菌のうち血清型分類の A 群に分類されるものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は 1.17 (前週 1.15) と **同程度に推移**

マイコプラズマ肺炎 *マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎

基幹定点から **2 例**の患者報告あり。

5 定点からコメントでの患者発生報告あり。

感染症についての説明及びグラフ総覧については、愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 1 歳男、13 歳女、18 歳男

病原性大腸菌 O18 8 ヶ月男、10 ヶ月女、4 歳男、38 歳女

病原性大腸菌 O25 5 歳女、10 歳男

病原性大腸菌 O124 4 歳男、7 歳女

カンピロバクター 4 歳男

アデノウイルス感染症、溶連菌感染症増加中です。

(尾西市 城後小児科)

感冒性腸炎多い。全体に軽症だが、中に血糖値が下がる例あり。

2 ヶ月～2 歳 細気管支炎、肺炎で入院 5 例あり。うち 2 例は、入院後 R S ウイルス^{*1} 抗原 (+) との報告あり。

水痘少し出てきました。

(一宮市 あさのこどもクリニック)

*1 R S ウイルス：呼吸器感染症を起こし、軽症から重症まで多彩な病像を示すウイルス。特に乳幼児では細気管支炎、肺炎を引き起こすことがある。

マイコプラズマ感染症 4歳、7歳女、3歳、9歳男

5～6日持続する発熱、強い咳嗽、胸部レントゲンは、気管支炎～気管支肺炎像、臨床所見より判断、マイコプラズマ抗体価上昇は1名のみ。

(一宮市 後藤小児科医院)

ロタウイルスによると思われる胃腸炎も見られる様になりました。

12月7日にA型インフルエンザを認めました。9歳女、8歳女

(犬山市 武内医院)

感染性胃腸炎の流行が続いています。

手足口病、水痘散発しています。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

インフルA、インフルAB、QuickにてA(+)14人。ワクチン2年連続接種者もあり。しかし、軽症。アマンタジン^{*2} 著効。ウイルス性胃腸炎にて点滴するもの多し。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

*2 アマンタジン：インフルエンザ治療薬

2歳男 マイコプラズマ肺炎

嘔吐下痢を伴った感染性胃腸炎の流行が続いているようです。

(春日町 丹羽医院)

尾張東部地区

マイコプラズマ感染症が相変わらずみられます。

水痘が増えています。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

水痘流行中です。溶連菌感染症もまだみられます。

マイコプラズマ感染相変わらず、小児、成人でみられています。

今週も嘔吐、下痢症状の方が大変多くみられました。

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

インフルエンザAが今シーズン初めて出ました。

休日救急診療でも15名

(尾張旭市 旭労災病院)

病原性大腸菌O18 1歳女

(半田市 医療法人林医院)

保育園年長児の嘔吐下痢症多い ロタは出てない。

(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)

A型インフルエンザ2例ありました。(兄弟例) ワクチン未接種

胃腸かぜまだ多数例出ています。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

今週も感染性胃腸炎がよくみられました。

インフルエンザらしい例も1人ありました。

(春日井市 かちがわ北病院)

感冒性胃腸炎 ロタ(-)多し。

(小牧市 小牧市民病院)

相変わらず感染性胃腸炎が多いです。

(小牧市 医療法人心正会鈴木小児科)

3歳百日咳はDPT未接種例です。

(小牧市 志水こどもクリニック)

便アデノ 2件

RSウイルス 2ヵ月 2件

(東海市 東海市民病院)

西三河地区

A型インフルエンザ 3歳男、9ヵ月男(兄弟例)

(インフルエンザ^{*3} A&Bとディレクティジェン^{*4} FluA+BでA型と確認しました。今シーズンの1例目です。)

アデノウイルス感染症 2歳男(チェックAd陽性)

RSウイルス感染症

生後26日男 細気管支炎にて入院 ディレクティジェンRSV陽性

6ヵ月女 ディレクティジェンRSV陽性

1歳9ヵ月女 RSウイルス(CF)128倍

3歳女 肺炎にて入院 ディレクティジェンRSV陽性

病原大腸菌O26 27歳女 VT1(-)、VT2(-)

病原大腸菌O6 14歳男

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

*3 エスプライン：インフルエンザ迅速診断キット

*4 ディレクティジェンRS：RSウイルス迅速診断キット

3歳男 病原性大腸菌

(岡崎市 花田こどもクリニック)

9歳男 病原性大腸菌O18 VT(-)

1歳男、9歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)

(岡崎市 にいのみ小児科)

13歳女 カンピロバクター

8歳男 病原性大腸菌O1 VT(-)

水痘流行中

(幸田町 とみた小児科)

水痘が流行しています。

(刈谷市 まついこどもクリニック)

大阪から帰省の中学生 インフルエンザA

(知立市 宮谷クリニック)

感染性胃腸炎はやや減少

(西尾市 やすい小児科)

病原性大腸菌O18 VT(-) 23歳男

今週も感染性胃腸炎の流行が見られ、水痘、伝染性紅斑が増加傾向です。

(西尾市 山岸クリニック)

異型肺炎 3歳女
胃腸炎の患者が多いです。

(三好町 三好町立三好病院)

東三河地区

1歳男、3歳女 マイコプラズマ肺炎

(豊橋市 野村小児科)

当院最初のインフルエンザ例が出ました。

(豊橋市 豊橋市民病院)

インフルエンザはA型が中心で増加してきています。

溶連菌感染あるも地域性なく散発しています。

(田原町 かわせ小児科)

1～3類感染症の発生状況 (愛知県)

発生報告なし

全数把握の4類感染症の発生状況 (愛知県)

発生報告なし

第48週(14年11月25日～12月1日)の4類感染症 (全国)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

急性出血性結膜炎の定点当たり報告数は0.05と全体的には少ないものの、一部都道府県(長崎県、岡山県、福島県)での増加により、過去5年間の同時期に比べるとかなり多い結果となった。感染性胃腸炎の定点当たり報告数(12.2)は二桁となり、過去5年間の同時期に比べるとやや多く、1999年と2001年のシーズンを上回って増加を続けている。都道府県別では、静岡県(26.4)、富山県(21.0)、広島県(18.2)からの報告が多く、東北・北海道以外の地区ではすべて平均で定点当たり10を超えた。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は過去5年間の同時期に比べやや多く、感染症法施行後で最も多かった2000年の数値も超えた。都道府県別では秋田県(2.1)、佐賀県(1.6)からの報告数が更に増加している。水痘の定点当たり報告数は過去5年間の同時期に比べやや多くなり、福井県(47週は3.5、48週が5.1)から更に増加し、定点当たり報告数が1.0を超えていない都道府県は香川県(0.9)、山梨県(0.6)のみとなった。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいないが、インフルエンザは定点当たり報告数(0.21)が47週の3倍となり、増加を始めている。都道府県別でも、滋賀県(0.7)、埼玉県(0.6)、福岡県(0.53)などの報告数が増え、東北・北海道からの報告も徐々に増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は今週再び増加し、佐賀県(3.4)を始め、2.0以上の都道府県が増えている。麻疹(成人麻疹を除く)は46週から微増しており、宮崎県(0.5)と福島県(0.4)で増加が見られる。成人麻疹は愛媛県(0.3)と東京都(0.1)から報告があったが、例年並に戻った。マイコプラズマ肺炎は2001年に次ぐ130例の報告があり、岡山県(1.6)と秋田県(1.4)からの定点当たり報告数が多い。手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は夏に比べ減少している。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

思いがけない寒波襲来の日々が続いています。乾燥した日が多くて（年のせいか？）ドライ・アイでつらい毎日です。ところでいつも貴重な情報を有難うございます。11月後半のまとめをお送りします。

1. 名古屋地区：第一日赤有吉先生からはムンプス、ウイルス性嘔吐下痢症、手足口病、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、水痘が目立つ、第二日赤岩佐先生からは嘔吐を主訴とするウイルス性の患者（ノ・ウオ・クかクタ）が多いがインフルエンザはまだ、城北病院渡辺先生からは急性胃腸炎急増、嘔吐が主体で下痢は軽症、ロタ・アデノ共に陰性、高熱のインフルエンザ様疾患があるが検査キット陰性、千種区今枝先生からはウイルス性胃腸炎増加、A群溶連菌ぼつぼつ、三菱病院岩間先生からは感染性嘔吐症、溶連菌感染症、感染性腸炎（カンピロバクタ -、大腸菌O1、O18）、マイコプラズマ肺炎＋胸膜炎、喘息性気管支炎が目立つ、中京病院柴田先生からは嘔吐下痢症増加、RSウイルス感染症の入院増加、水痘散発、労災病院山田先生からは溶連菌感染症多発、ウイルス性胃腸炎、病原性大腸菌O1、O6、O15、O18、O119感染症、カンピロバクタ - 腸炎、ブ菌性火傷様皮膚症候群、RSウイルス感染症、喘息発作が目立つ、大同病院水野先生からは肺炎、気管支炎、急性胃腸炎が多く二峰性発熱例あり、溶連菌流行と同時にアレルギー - 性紫斑病や急性腎炎目立つ、百日咳発生が続き乳幼児の肺炎による入院が目立つとのお手紙をいただきました。
2. 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎がやや多く、溶連菌感染症、手足口病が散発中、江南市昭和病院西村先生からは嘔吐主訴の胃腸炎、ムンプス、溶連菌、RSウイルス感染症、アデノウイルス感染症、肺炎が目立ちインフルエンザ様高熱の例もあり、愛北病院露木先生からは幼児の感冒性嘔吐が多くムンプスあり、溶連菌感染症時々、幼児～学童のマイコプラズマ肺炎が多い、常滑市民病院上田先生からはウイルス性胃腸炎、ムンプス、水痘、溶連菌感染症、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、ムンプス髄膜炎が目立つとのお手紙をいただきました。
3. 三河地区：加茂病院梶田先生からは嘔吐が目立ち高熱例も目立ち（インフル陰性）、RSウイルス感染症が多くロタウイルスはまだ出ていない、安城更生病院小川先生からはウイルス性胃腸炎が多発中で水痘散発、喘息の入院がまだ目立つ、知立市近藤先生からは嘔吐、発熱の感冒が多く伝染性紅斑散発、刈谷市田和先生からは嘔吐下痢症が目立ち溶連菌感染症少し目立つ、豊橋市からはマイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑、溶連菌感染症などの報告をいただきました（市内宮澤先生、長屋先生）。有難うございました。

2002年11月1日号(77巻44号)

ライシュマニア症。都市化による増加傾向：ライシュマニア症（以下ラ症、原虫感染症で皮膚型と内臓型があり熱帯地区全域に分布、南米に分布する腸管疾患と心疾患主体の感染症と中近東に分布する慢性肝疾患が問題となる。媒介昆虫はカメムシ、ノミ）はいまだに世界的な公衆衛生学上の問題で、年間 150 - 200 万人の新感染者が見積もられており、うち 100 - 200 万例が皮膚型ラ症、50 万例が内臓型ラ症と推定されている。

地域分布は最近拡大し、従来報告のなかった地域から報告されるようになった。ここでは最近の状況のがまとめられている。人口の都市化：1950 年には世界人口の 1/3 以下が都市居住者であったが現在は半数以上が都市に居住し、ラ症感染のリスクにさらされている。新大陸型皮膚ラ症：ブラジル・アマゾン河流域、コロンビア、ベネズエラ、旧大陸ではサウジアラビアなど湾岸諸国に分布。西アフリカのブルキナ・ファソのワガドグや西南アジア、イランイラクやアフガニスタンのカ - ブルなどに常在。アフガニスタン・カ - ブルでは人口の都市化につれて急増中。国境をこえた難民の移住による感染拡大が問題となっている。これまで報告のなかったサウジアラビアでも内臓型のラ症が流行、ブラジルなどの南米ではエイズとの混合感染が問題となっている。南欧各地区の増加も注目されている。

インフルエンザ：10 月。アルゼンチン、カナダ、フランス。A 型と B 型。10 月 25 日 - 11 月 1 日届出：コレラ。インド、オ - ストラリア（輸入例）。

2002年11月8日号(77巻45号)

黄熱：セネガルの現況。10 月 31 日時点で確定 45 例（死亡 4 例）。トウバ地区で 33 例。予防接種強化。その後の流行はおこっていない模様。

西ナイル熱：カナダと米合衆国の現状。9 月 30 日時点でカナダでは 79 例（確定例 31、死亡 1 例）、ケベックとオンタリオ州。米国では 9 月 29 日までに 3399 例（死亡 193 例）。鳥類、蚊、馬などの動物の感染が確認されている。

メジナ虫国際会議。モ - リタニア。02 年 10 月 28 日 - 30 日。次号掲載予定。ポリオ。野生株の実験室内診断の世界的状況。01 年 7 月 - 02 年 8 月。世界地図あり。ポリオ様急性弛緩性麻痺患者の材料収集とウイルスの分離は世界的に確実に進捗しているが現在最大の発生地区であるインド、パキスタンと熱帯アフリカが空白地帯となっている。これらの地区からの報告を待ちたい。インフルエンザ：10 月。ブラジル、チリ、マダガスカル、英国。散発中。11 月 1 日 - 7 日届出。コレラ。ガ - ナ、ナイジェリア。黄熱。セネガル。

愛知県感染症情報

2002年第1週～第50週(平成13年12月31日～平成14年12月15日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	35,982	557	7,038	38,020	12,239	6,970	2,235	6,393	82	118	6,736	2,159	7,822	32	1,015	4	15	98	113	1	22
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	28,271	386	4,971	25,959	9,437	4,813	1,747	4,924	59	80	5,671	1,710	6,382	21	733	4	15	98	113	1	22
名古屋市	70	70	11	14	1	7,711	171	2,067	12,061	2,802	2,157	488	1,469	23	38	1,065	449	1,440	11	282						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,304	46	708	1,712	600	503	59	274	2	7	205	80	503	4	44		1	34		
海部	津島	7	7	2	2	1	1,230	16	116	1,650	510	304	119	192	1	7	380	80	304	1	39		2		6	
尾張中部	師勝	4	4	1	1		795	2	30	1,892	166	144	22	100		6	139	29	34	2	31					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,148	49	473	3,605	954	504	126	581	3	3	386	254	389	1	63	1	2	48	2	
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,964	25	489	1,690	948	566	165	452	6	7	347	136	323		47		3	1	3	6
	江南	6	6	1	2		1,796	61	413	2,342	605	287	116	173	1	5	408	67	320		40					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,319	33	127	820	407	157	236	211	3	4	129	135	345		15	3	1		3	12
	知多	7	7	2	2		2,386	45	250	1,470	693	473	111	355	6	8	500	227	304	1	34					
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,987	20	497	288	1,185	428	226	716	15	4	595	79	895	1	145					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,481	14	493	1,544	1,047	241	162	497	7	9	596	212	403	2	29		1	1	3	
	西尾	4	4	1	1	1	282	5	83	767	263	45	29	116		6	253	25	134	1	57		2	11	6	3
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,423	20	209	1,534	609	311	80	301	13	11	345	156	797	2	67			3	39	
	加茂	3	3		1		366	4	37	506	116	100	24	105			52	44	279							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,023	19	710	3,415	655	370	159	481		1	631	76	738	2	117		3		39	
	豊川	9	8	1	2	1	2,633	27	333	2,723	616	335	109	357	2	1	672	102	510	4	5			12	1	1
東三河北部	新城	2	2			1	134		3	1	63	45	4	13		1	33	8	104							

